

総合（自主研究） 遠隔学習指導 実践報告

1. 学年と題材

第2，3学年の総合的な学習の時間には本校独自の「自主研究」が位置づけられている。ここでは、自主研究の遠隔学習指導について報告する。

2. 自主研究について

本校の総合的な学習の時間には、個人で取り組む「自主研究」と学年集団で取り組む「学年総合」がある。自主研究が「生徒個人が自分の興味・関心のあることの中から課題を見出し解決する探究活動」とすれば、学年総合は「身近な社会とつながる課題から持続可能な社会を見据えた課題まで、生徒が協働的に解決する探究活動」と言える。自主研究は1978年に試験的に開始され翌年完全実施となり、2020年度も継続されている本校独自のカリキュラムである。とはいえ、自主研究のねらいが総合的な学習の時間にぴたりと当てはまるものなので、現在全国的に似た学習活動が展開されている。

自主研究は図1に示すように、1年前期から3年後期まで、6つの時期に分けて段階的にステップアップできるように構成されており、2年前期から本格的に探究活動が始まる。自主研究は探究活動である。見通しと振り返りが重要であり、そのための支援・指導を様々な形で行っている。コロナ禍での具体的な指導について、この後述べていく。

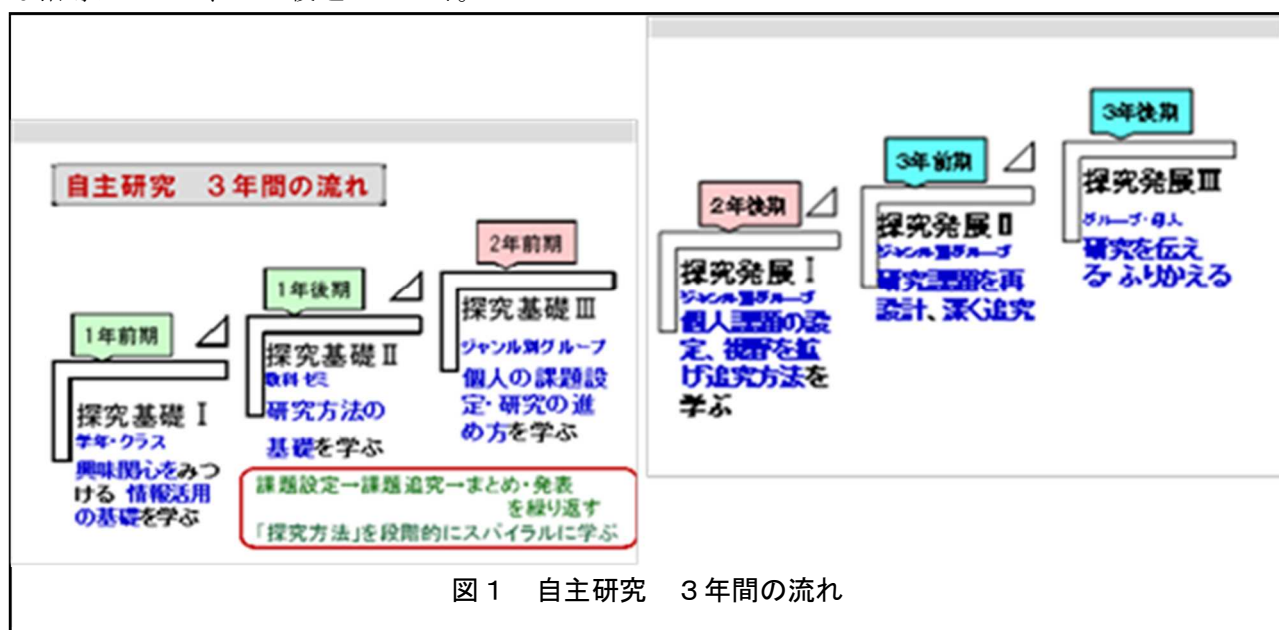


図1 自主研究 3年間の流れ

3. 学習指導の実践

第2学年の生徒の課題をグループに振り分け、第3学年の生徒と合わせた人数や教員の担当教科などを考慮して、グループ顧問の割り振りを行った。5月の連休明けから遠隔学習が始まり、自主研究も遠隔での学習指導を行うことになった。年度初めの指導は第2学年と第3学年とで大きく異なるため、学年毎に別々のコースを立てて指導に当たった。その実践については以下（1）、（2）で示す。また、通常の自主研究では振り返りを「自主研究日誌」に記載して顧問に提出し、顧問がアドバイスを記入して返却するという方法をとってきた。しかし、遠隔学習となって日誌を活用することができなかったため、日誌に書く振り返りの内容をオンラインのアンケートに答える形で提出させることにした。これについては（3）に示す。

（１）第２学年での学習指導の実際

２年生は初めての自分で設定したテーマによる自主研究の取り組みになる。本来であれば担任やグループ担当教員による丁寧な面談を経て、研究がスタートするが、今年は休校により十分にそれを行うことができなかった。休校期間中は Moodle による授業動画とアンケートを併用したオンデマンド型の学習支援を進め、家庭でも取り組める自主研究を進めるようにした。

４月 課題決定表を送付。自宅で作成を進める。

学級担任が電話で自主研究の課題について指導を行う。

６月 Moodle 上で自主研究ガイダンス（動画）を行う。

以降、毎週、家庭で取り組む自主研究の進捗状況についてアンケートで調査した。

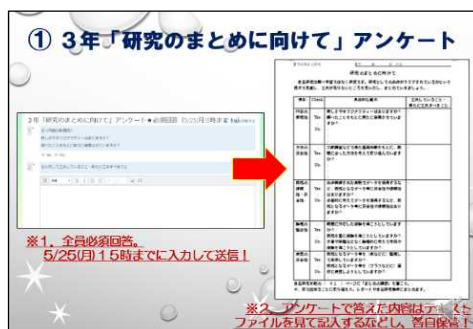
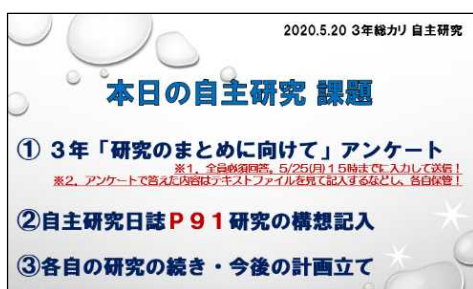
（２）３年生への学習指導の実際

下に３年の自主研究に向けた指導の概要を示した。

２月末	課題決定表を配布し、３年前期のまとめの構想を鳴ることを課題とした。（コロナ禍による休校中の課題）
３月末	課題決定票回収（登校日）
４月末	担任からアドバイスを伝える（課題決定表への記入・発送および電話連絡）
５月 20 日	遠隔授業での学習指導①
６月 6 日	遠隔授業での学習指導②

（い）遠隔授業での学習指導①

３年生は、例年１学期の開始と同時に自主研究の最終的なまとめの時期を迎える。しかし、今年度はその時期が遠隔学習期間中であったため、Moodle 上の「３年生総合カリキュラム」のページより、３年次の自主研究オリエンテーション（動画）及び研究の最終段階を迎えるにあたってのアンケートを行った。以下、その実践である。

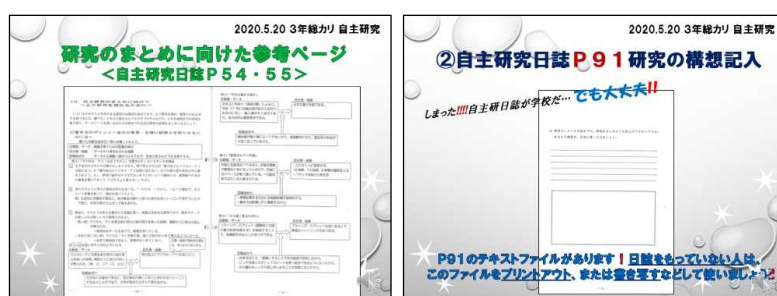


授業の流れ

1. 生徒たちが各自、春休み中に作成した自主研究課題決定表を手元に用意させた上で、授業の概要を①～③に項立てして説明した。
2. ３年「研究のまとめに向けて」アンケート実施について説明した。アンケートは１週間ほどの期間の中で Moodle 上で行ったが、Moodle 上のアンケートに回答させるのみでは生徒本人の手元に回答を残すことができないため、同アンケートのテキストファイルも Moodle 上に掲載した。そして、生徒が自宅でアンケートをプリントアウトして書き込んで持っておくことができるように配慮をした。アンケートの内容は以下の通りである。（全て YES・NO 回答。及び、「工夫していること・新たに工夫すべきこと」と問う内容としている。）

- ・内容の新規性
新しさやオリジナリティーはありますか？ 調べたことをもとに新たに発展させていますか？
- ・方法の妥当性
文献調査などで得た基礎知識をもとに、課題に合った方法を考えて取り組んでいますか？
- ・根拠の信頼性・妥当性
条件制御された実験でデータを獲得するなど、根拠となるデータ等に妥当性や信頼性はあるですか？
多面的に考えてデータを獲得するなど、根拠となるデータ等に妥当性や信頼性はあるですか？
- ・論理の整合性
課題に対応した結論を導こうとしていますか？ 根拠を基に結論を導こうとしていますか？
矛盾や飛躍などなく論理的に考えて考察や結論を導こうとしていますか？
- ・表現の妥当性
根拠となるデータ等を（表などに）整理して保存していますか？
根拠となるデータ等を（グラフなどに）適切に表現しようとしていますか？

3. 生徒の手元にある自主研究日誌の使用頁について説明した。（オンラインと共に日誌を活用。）今後、自主研究レポートや集録に研究のまとめをすることを提示し、研究最終段階であることの意識を高めることができるように工夫をした。



（ii）遠隔授業での学習指導②

例年第1回の自主研究では学年毎にガイダンスを行っている。この学習指導②では、①についてほとんどの生徒が取り組んでいること確認したうえで、使用するスライドに音をのせて動画にした。3年後期にはガイダンスがないため、まとめに向けて見通しがもてるような内容とした。最後に、前期に特にチャレンジして欲しいことである「外部とつながる」を示し、過去の例などとともに意欲を喚起した。最後に学習指導①でも伝えた内容であるが、毎週取り組んだ自主研究の進捗状況を記入する方法を確認して終了とした。以下はその動画で用いたスライドの一部である。





(3) 2, 3年共通の学習指導

遠隔授業期間は自宅でそれぞれ自主研究を行うことを各学年で指導した。Moodleに「自主研究2, 3年コース」を設定し、アンケートの形式で個人の記録ができるようにした。担当者は毎週アンケートをアップロードすると共に、その記入内容をダウンロードしてグループ毎に整理したものをグループ顧問に配布し、対面授業での自主研究指導に役立てられるようにした。

自主研究の進捗状況の記録

- MOODLEの自主研究2, 3年コースにアクセスしてください。
- アンケートに進捗状況を記入します。(週に1回、必ず記入)
- 毎週月曜日に新しいアンケートがアップされます。